



大地震想定「命を守る行動を」

竹田、臼杵で避難訓練

【竹田・臼杵】東日本大地震が発生した11日前に、竹田市や臼杵市で10日、避難訓練があった。

▽竹田市直入小（田崎公治校長、79人） 授業中に大きな地震が発生したとの想定で、児童は姿勢を低

くして頭を守った。揺れが収まると、素早くグラウンドに移動。田崎校長が「地震発生から津波到達までに高台やビルに逃げる時間はある。自分の命を守る行動を考えて」と述べた。訓練後に「3・11集会」

を開き、1〜3年生39人が地震発生時の対応をまとめた動画（約10分）を披露。災害への備えとして「家族で避難ルートを確認し、3日分の食料などを詰めた非常袋を作っておく。大人の言うことを聞き、落ち着い

て行動しよう」と呼びかけた。

動画を作ったメンバーの一人、工藤志織さん（9）は3年11は「東日本大震災は生まれる前に起きたが、忘れてはいけない出来事」と話した。（原田宏一）

▽臼杵市中心部 南海トラフ地震を想定した合同避難訓練があり、地元の小中学生や住民ら約700人が参加した。

午前10時ごろ、震度6弱の揺れを観測したとの想定。それぞれの学校や家庭で机の下などに身を隠す「シエイクアウト訓練」をした後、避難所に指定されている海抜約19メートルの臼杵公園に移動。20分ほどで避難を完了した。

エアテントの設置訓練や防災資機材の展示などもあり、参加者はブースを回って使用方法などを学んだ。

合同避難訓練は2014年から実施。主催する市中央地区振興協議会の福田和民会長（79）は「住民の参加率低下が課題。自分の身を自分で守るために積極的な参加を呼びかけたい」と話した。

（衣笠田布紀）



グラウンドに避難する児童
10日、竹田市直入町の直入小



エアテントの設置訓練をする参加者
10日、臼杵市の臼杵公園グラウンド

大分合同新聞 2023年3月11日（土）朝刊 14面

〔問①〕竹田市、臼杵市それぞれの地域で地震発生時に起こる災害にはどのようなものが考えられるでしょうか。

〔問②〕地震など自然災害から命を守るために、日ごろからどのようなことを心がけておけば良いでしょうか。自分なりの方法を考えてみましょう。